

高梁川水系 河川整備計画

Takahashi River
Improvement Project

第7号 2010年6月発行

ニューズレター

高梁川水系河川整備計画に関する会議の状況や河川整備計画の策定状況などの情報をお伝えします。

「地域と共に明日の高梁川を考える会」を開催します。

国土交通省中国地方整備局では、今後概ね30年間に高梁川水系の国が管理する区間(高梁川および小田川)で実施する河川整備の目標や整備内容を記載した「高梁川水系河川整備計画(原案)【国管理区間】」(以下「原案」とする)を作成しました。

地域住民の皆さんに「原案」の内容をご説明するための説明会を8箇所(倉敷市6箇所、総社市2箇所)で開催いたします。

倉敷市 6会場で開催

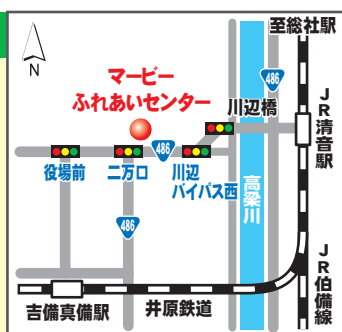
※事前のお申し込みは不要です。当日、直接会場にお越し下さい。各会場とも30分前から受付を開始します。

マービーふれあいセンター

6月10日(木)

19:00~21:00

〒710-1301
倉敷市真備町箭田
40番地1
TEL 086-698-9111

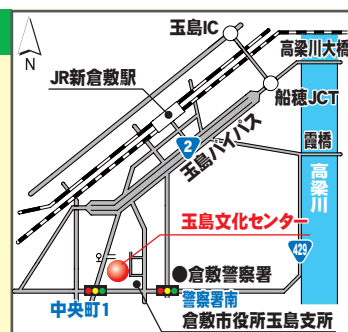


玉島文化センター

6月14日(月)

19:00~21:00

〒713-8121
倉敷市玉島阿賀崎
1丁目6番27号
TEL 086-525-2611



水島公民館

6月15日(火)

19:00~21:00

〒712-8062
倉敷市水島北幸町1-2
TEL 086-444-2541



船穂公民館

6月17日(木)

19:00~21:00

〒710-0261
倉敷市船穂町船穂
1697
TEL 086-552-2600



倉敷市芸文館

6月18日(金)

19:00~21:00

〒710-0046
倉敷市中央1-18-1
TEL 086-434-0400



柳井原小学校

6月20日(日)

14:00~16:00

〒710-0263
倉敷市船穂町柳井原
1854-5
TEL 086-552-2304



総社市 2会場で開催

※事前のお申し込みは不要です。当日、直接会場にお越し下さい。各会場とも30分前から受付を開始します。

西公民館

6月11日(金)

19:00~21:00

〒719-1142
総社市秦350
TEL 0866-92-0446



清音公民館

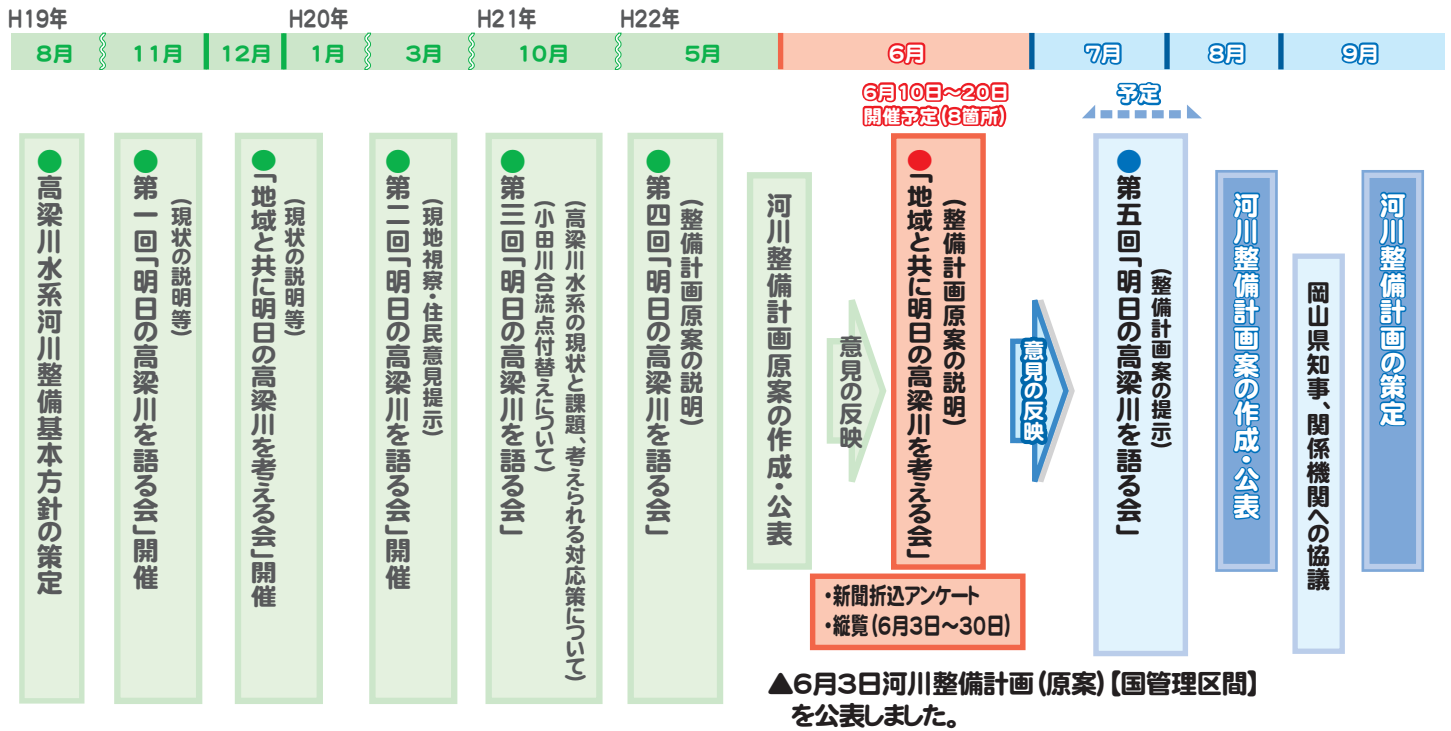
6月12日(土)

14:00~16:00

〒719-1172
総社市清音軽部
684-1
TEL 0866-94-0131



高梁川水系河川整備計画の策定に向けたスケジュール



第4回「明日の高梁川を語る会」を開催しました。

第4回「明日の高梁川を語る会」(平成22年5月25日開催)では、河川整備計画(原案)【国管理区間】について説明し、学識者経験者の方々と協議しました。なお、第3回「明日の高梁川を語る会」において説明した小田川合流点付替え案(複数案の比較結果を含む)に関して小田川合流点付替え案が妥当であることを再度確認しました。

河川整備計画(原案)に対する主な意見と対応を以下に示します。

主なご意見の紹介

高梁川水系河川整備計画(原案)【国管理区間】について



学識者からのご意見

下流区間については、河川整備基本方針の目標流量が達成できる整備を進めるという考えでよいですか。また、22kmより少し上流区間は下流能力がかなり低い箇所があるが、特に配慮されるのでしょうか。

笠井堰の左岸側を可動堰にすると、砂州の形が洪水時にどんどん変わっていくということになるのですか。

河道掘削を実施した場合の川底や水際の辺りの養生はどのようなことを計画されているのでしょうか。

環境保全や維持管理は河川管理者だけで解決できる問題ではないと思う。アドプト制度、河川モニター、伐木ボランティアなど住民の参加・連携についての記載を加えてはどうですか。

渇水が年中行事化していく状況を河川管理者はどのように認識し、対応を考えていますか。



河川管理者の対応

下流区間は整備後には河川整備基本方針の流量が流下可能となります。また、22kmより上流の宍粟地区は堤防がなく流下能力は低いが、整備計画では宍粟地区下流の河道掘削を実施することにより、宍粟地区の水位が低下し、家屋の浸水を防ぐことができるようになります。

堰改築の影響については、河床変動のシミュレーションを検討しています。その結果によると大きく河床が変わるという傾向は示していません。

河道掘削は、できるだけ通常流れている水位から上の部分での掘削を行うこととしています。また、水際についても、緩やかな勾配やワンドを残していけるように保全・配慮しながら掘削する予定です。

【原案に反映】
現時点でも清掃活動や伐木ボランティアなどで住民の皆様にご協力いただいています。引き続き継続して実施していくことを記載します。

【原案に反映】
引き続き降雨、流量などのデータの収集、整理や水利用の実態把握を行い、経年的変化などモニタリングを実施し、流域の少雨化が進行した場合でも渇水被害が深刻とならないよう、調査、検討に努めます。



第4回「明日の高梁川を語る会」開催状況

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局 岡山河川事務所 高梁川みらいプロジェクト

〒700-0914 岡山市北区鹿田町2丁目4番36号 TEL (086)223-5101(代表) FAX (086)222-7835

URL <http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/>